

水田転換園でのユズの最適な栽培方法を見つけ出す

高知大学大学院 総合人間自然研究科（修士課程） 農林海洋科学専攻 農芸化学コース 土壌環境学研究室 修士1年 富田和馬

私は幼い頃から生き物に興味がありました。そのため、生き物に関わることができる大学に入ろうと決め、高校の先生の勧めもあって高知大学に進学しました。また、身体を動かすことが好きなため、野外調査の機会が多い土壌環境学研究室に入りました。

私は、高知県幡多郡三原村の「ユズ園の土壌肥沃度とユズ生育との関係の解明」をテーマとして研究しています。これは三原村農業公社との共同研究で、1つ上の先輩の代から始まりました。一般に高知県の特産品であるユズは山の斜面で栽培されますが、三原村では水田転換園で栽培されていることが大きな特徴です。中山間地の水田は立地条件や土壌環境が多様で、排水が悪く水が溜まりやすい圃場もあり、ユズ生育もそのような影響を強く受けていると考えています。

初めて三原村に行ったのは、研究室分属から2ヵ月後、3回生の11月でした。人生初の現地調査のため、何をすればよいのか全くわからず、同級生とともに右往左往していました。また、圃場ごとの特徴も理解しておらず、先生や先輩に多くのことを教えていただきました。その日の夜は民宿に泊まりました。ご飯はとても美味しいだけでなく、量も多く、



2020年度の土壌断面調査

ご飯だけで2合食べた上におかずも6品近くあり、とてもお腹いっぱいになりました。三原村の副村長さんや農業公社の方々ともお話をする機会を持つことができ、三原村の方々の人柄の良さと美味しいご飯に胃袋を掴まれ、三原村に惚れてしまいました。

4年の5月には初めて土壌断面を調査しました。天候はあいにくの雨でテントを立てての調査となりました。2回目の現地調査ということもあり、事前に土壌断面の記載方法や重要性を勉強していたため、雨のなかでも円滑に調査ができました。

これまでの調査を通して、多くの方々のご協力により、私の研究が支えられていることを痛切に感じています。そのため、大学院での研究を通して水田転換園でのユズの最適な栽培方法を見つけ出し、三原村へ少しでもお返しがしたいと考えています。これからは、今までの土壌中心の調査を発展させ、ユズ生育や収量との関連を調べる予定です。さらに、高知県のユズ生産発祥の地として有名な北川村での調査も行い、水田転換園と傾斜地園を比較したいと考えています。



ユズの花